

平成30年度 第1回嘉麻市いじめ問題対策推進協議会

■日 時 平成30年9月26日(水) 午後3時00分～

■場 所 嘉麻市役所 嘉穂庁舎2階 第1会議室

■出席者

	氏 名	出欠		氏 名	出欠
委 員	井ノ口 昌子		委 員	小 鱗 誠	
委 員	川 原 朋美		委 員	芳 野 浩 司	
委 員	伊 東 新 治		委 員	楠 田 瑛 介	
委 員	山 下 晃 司		委 員	安 永 博 信	
委 員	前 田 光 佐 子		委 員	中 嶋 時 夫	

[事務局：学校教育課]

課 長 柴田きよみ

参 事 大森 雅明

課長補佐 北富 真治

指導係長 宮脇 教子

【次 第】

1 委嘱書の交付

2 教育長あいさつ

3 委員および事務局自己紹介

4 会長の確認、副会長の選出

5 議 事

【公開】

(1) 「嘉麻市いじめ問題防止基本方針」の改訂について

(2) 本市の状況等について

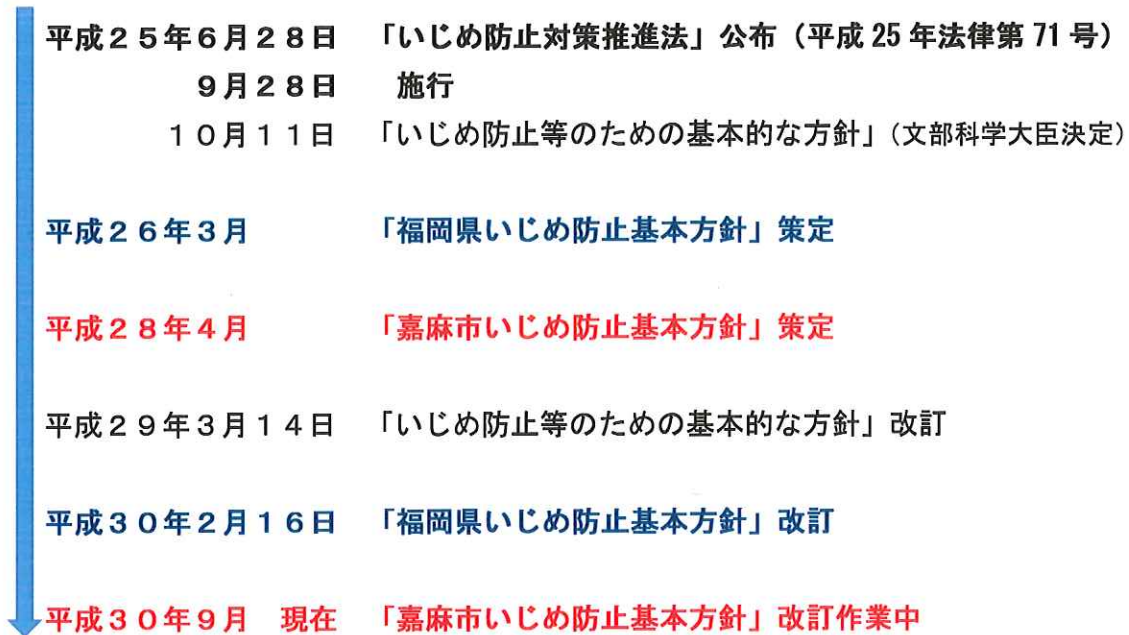
(3) その他

【非公開】

(1) 前年度の事案について

「嘉麻市いじめ防止基本方針」の改訂について

1 「嘉麻市いじめ防止基本方針」策定および改訂までの流れ



2 「嘉麻市いじめ防止基本方針」の改訂について（協議中）

（1）いじめの定義及び防止等に関する考え方について（予定）

- 心理的又は物理的な影響があると思われる行為を受けているにもかかわらず、心身の苦痛を感じない者等がいることを理解し、適切に対応すること。等

（2）いじめ防止等の対策について（予定）

- 学校いじめ防止基本方針に関すること。
- いじめに係る行為が少なくとも3か月止んでいること、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと等、いじめの解消を適切に見定め判断すること。等

（3）重大事態への対処について（予定）

- 市、教育委員会及び学校が実施すべきことを整理する。等

(資料2)

嘉麻市立小・中学校における「いじめ問題」について

1 基本情報

(1) 児童生徒数

平成29年度 児童生徒数 (年度末時点)

児童数 : 1,880人

生徒数 : 921人

平成30年度 児童生徒数 (5月1日時点)

児童数 : 1,812人

生徒数 : 946人

(2) 「いじめ」の定義 (いじめ防止対策推進法 平成25年法律第71号)

「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等、当該児童生徒と一定の人間関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であつて、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」

心理的な影響 : 冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。仲間はずれ、集団による無視をされる。パソコンや携帯電話等で誹謗中傷や嫌なことをされる。等

物理的な影響 : 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。ぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。金品をたかられる。金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。

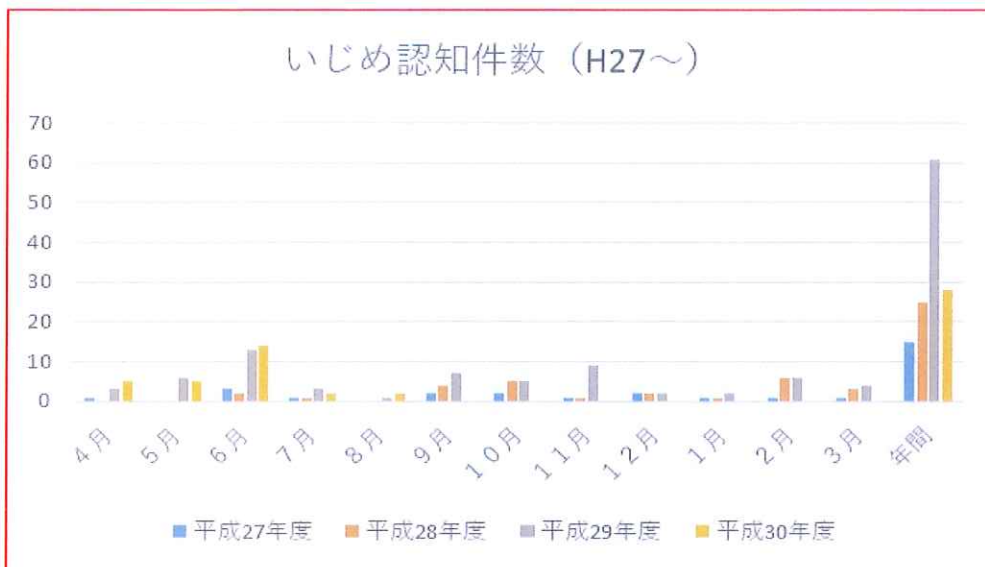
等

2 嘉麻市におけるいじめの認知件数

(1) 平成29年度 いじめの認知件数 (校種別、男女別)

小学校		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	男子	0	1	0	0	1	0	1	5	1	0	2	3	14
女子	0	2	2	0	0	2	1	0	0	0	0	1	8	
男女計	0	3	2	0	1	2	2	5	1	0	2	4	22	

中学校		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
	男子	2	3	6	2	0	2	3	3	1	1	1	0	24
女子	1	0	5	1	0	3	0	1	0	1	3	0	15	
男女計	3	3	11	3	0	5	3	4	1	2	4	0	39	



※ 平成28年度の途中から認知件数を人数でカウントすること、いじめの認知をいじめの定義に基づいて行うことの徹底を図ったことから件数は増えている。

(3) 平成30年度 いじめの認知件数 (校種別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
小学校	4	1	7	1	0								13
中学校	1	4	7	1	2								15

平成29年度、小学校では11月、中学校では6月に増える傾向があった。運動会(体育会)等、学校行事が多い時期、または、大きな行事後にいじめ問題の認知件数が増える傾向がみられた。これを踏まえ、平成30年度は、中学校6月の件数が昨年の11件から7件と減少している。

※ 小学校で6月の認知件数が増えていることについて、1校の同じ学年から3件の報告があがっている。現在は落ち着いており、早期発見・早期対応が重要である。

